

記入日：2019/11/12

R1年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	福井コンピュータ株式会社
ソフトウェア名/Ver.	TREND-POINT Ver.7
適用分野	BIM/CIM全般、i-Construction
適用フェーズ	全フェーズ

国交省			ソフトウェアの対応状況
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	R1年度の施策等	
1	必須項目	CIMモデルの作成・更新	<p><CIM 導入ガイドライン></p> <p>対応している機能 ・地形モデルは数値地図や計測点群を元にTINで作成可能</p>
2		属性情報の付与	<p><CIM 導入ガイドライン></p> <p>対応なし</p>
3		CIMモデルの照査	<p><BIM/CIM 設計照査シートの運用ガイドライン></p> <p>対応している機能 ・3D上での任意点間の距離計測、座標計測・参照およびテキスト旗揚げによる不整合箇所の明示 ・任意断面切り出し機能 ・ビューアー出力機能</p>
4		CIMモデルの納品	<p><CIM 事業における成果品作成の手引き></p> <p>対応している機能 ・地形モデルのLandxml出力により納品可能</p>
1		段階モデル確認書を活用したCIMモデルの品質確保	<p><段階モデル確認書>に基づきCIMモデルを共有し、その効果や課題について抽出する</p> <p>対応なし</p>
2		情報共有システムを活用した関係者間における情報連携	<p>情報共有システムの3次元データ表示機能等を活用し、関係者間の情報連携を実施する</p> <p>対応なし ・ただし、ビューアーファイルとして出力し受け渡しが可能</p>
3		後工程における活用を前提とする属性情報の付与	<p>CIMガイドラインに固執せず、事業ごとの特性から追加すべき属性情報を検討する</p> <p>対応なし</p>

国交省				
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	R1年度の施策等	ソフトウェアの対応状況	
4	選択項目	工期設定支援システム等と連携した設計工期の検討	「設計施工間の情報連携のための4次元モデルの考え方」を参考に施工ステップに沿ったCIMモデルを構築する	対応なし
5		CIMモデルを活用した工事費の算出	CIMモデルから数量を算出するとともに、算出された数量に基づく概算事業費の算出を行う	対応している機能 ・設計モデルや地形モデル、点群を用いた比較数量の算出が可能
6		契約図書としての機能を具備するCIMモデルの構築	契約図書としての要件を備えたCIMモデルを作成し、3次元モデルと2次元図面との整合性について確認する	対応なし
7		CIMモデルを活用した効率的な照査	3次元モデルと属性情報に基づき、効率的な照査を実施する	対応している機能 ・3D上での任意点間の距離計測、座標計測・参照およびテキスト旗揚げによる不整合箇所の明示 ・任意断面切り出し機能 ・ビューアー出力機能
8		施工段階におけるCIMモデルの効率的な活用方策の検討	CIMモデルを用いた仮設計画、施工計画を行い、出来型管理を検討、実施する	対応している機能 ・現況点群と設計モデルを活用した出来形確認が可能